

腎臓内科 Nephrology

1. スタッフ構成

○村上 太一(主任部長、腎糖尿病センター副センター長)

2000年徳島大学医学部卒

専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法

資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本腎臓学会腎臓専門医・指導医、日本透析医学会透析専門医・指導医、厚生労働省臨床研修指導医

○鈴木 紗代(部長)

2010年徳島大学医学部卒

専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法

資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本透析医学会透析専門医、厚生労働省臨床研修指導医

○谷村 智史(医長)

2011年長崎大学医学部卒

専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法

資格:日本内科学会認定内科医、日本腎臓学会腎臓専門医、厚生労働省臨床研修指導医

○高橋 謙作(医長)

2014年岡山大学医学部卒

専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法

資格:厚生労働省臨床研修指導医

○平田 隆(内科専門研修プログラム専攻医)

2022年大阪医科薬科大学医学部卒

専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法

○菱田 佑輔(内科専門研修プログラム専攻医)

2022年近畿大学医学部卒

専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法

2. 実績

■ 疾患別入院患者数

疾患名(ICD10 準拠)	2020	2021	2022	2023
慢性腎臓病・腎不全	44	23	40	34
急性・慢性腎炎症候群	50	56	75	77
ネフローゼ症候群	46	36	34	17
末期腎不全	164	94	111	105
急性腎障害	14	10	7	12
SLE	4	2	0	1
シャントトラブル	87	59	68	73
血管炎	28	17	19	14
心不全	26	23	11	15
CAPDトラブル	15	7	6	4
感染症	-	-	19	32
その他	49	23	4	3
合計	527	350	394	387

■ 透析

	2020	2021	2022	2023
腎代替療法外来受診数	99	122	100	100
血液透析 導入数	89	98	97	97
腹膜透析 導入数	9	5	2	8

■ 腎生検

診断名	2020	2021	2022	2023
IgA 腎症	11	17	21	18
膜性腎症	5	6	6	5
微小変化型ネフローゼ	6	7	2	1
糖尿病性腎症	0	5	2	5
微小変化	1	1	2	1
腎硬化症	4	2	4	3
移植腎生検	0	4	7	5
半月体形成性腎炎	4	5	1	3
ループス腎炎	0	1	3	1
アミロイドーシス	1	0	0	2
間質性腎炎	6	4	1	3
紫斑病性腎炎	1	0	0	0
巣状糸球体硬化症	1	1	1	2
膜性増殖性糸球体腎炎	0	1	1	1
その他	5	6	4	4
合計	45	60	55	54

<扁桃腺摘出術およびステロイド・パルス療法>

IgA 腎症に対しては、腎炎の活動性を評価のうえ、完全寛解を目指して扁桃腺摘出術を行い、その後、ステロイド・パルス療法および経口ステロイド投与を行っています。若年者ではほぼ全症例に推奨しています。

<腎臓病教育入院>

糖尿病、メタボリックシンドローム合併による腎不全患者が増加しています。腎機能維持と合併症予防のため、食事療法に加え栄養指導、運動療法を組み込んだ教育入院を行っています。

3. 2024 年度目標

- 尿所見異常から、糸球体腎炎、慢性腎臓病、急性腎障害、腎代替療法までの総合的腎臓病診療を発展させること。特に、看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士を含めた総合的な生活指導の充実を図ります。
- 腎生検診断の蛍光抗体検査と光学顕微鏡検査は当院病理部門で行い、1週間程度で WHO 分類の診断を行います。
- 腎代替療法は血液透析、腹膜透析、腎移植の3つの方法を説明・提案し、患者さんの生活スタイルに見合った治療方法を共に見つけていきます。
- 慢性腎臓病は心・脳血管病変をしばしば合併するので、循環器病センターや脳卒中センターとも連携し、総合的管理を

行います。

4. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 村上太一. 腎代替療法 選択肢提示の現状とその課題～愛媛県の透析患者の推移～. 愛媛県腎代替療法セミナー. 松山 (2023.1.11)
2. 村上太一. 腎臓病診療で知っておきたいこと～腎臓の基本から病診連携まで～. 愛媛腎臓を守る会(E-DIAMOND) 松山西南・城西・西城南地区. 松山 (2023.2.9)
3. 村上太一, 西脇麻里子, 谷村智史, 垣尾勇樹. *Listeria monocytogenes* による感染性腹部大動脈炎を合併した血液透析患者の一例. 第 68 回日本透析医学会学術集会・総会. 神戸 (2023.6.16-18)
4. 村上太一. 当院における膜性腎症を合併した糖尿病性腎症の経験. 第 36 回愛媛糖尿病合併症研究会. 松山 (2023.7.15)
5. 平田隆, 村上太一, 西脇麻里子, 谷村智史, 垣尾勇樹. *Listeria monocytogenes* による感染性腹部大動脈炎を合併した血液透析患者の一例. 第 128 回日本内科学会学四国地方会. 高知 (2023.7.23)
6. 村上太一, 高橋謙作, 西脇麻里子, 谷村智史. アバコパンおよび低用量プレドニゾン(PSL)で寛解導入を行った ANCA 関連血管炎の 2 例. 第 53 回日本腎臓学会西部学術大会. 岡山 (2023.10.7-8)
7. 谷村智史, 西脇真理子, 高橋謙作, 村上太一. 化学療法が奏功した Fanconi 症候群合併 Crystalline Light chain proximal tubulopathy の 1 例. 第 53 回日本腎臓学会西部学術大会. 岡山 (2023.10.7-8)
8. 中城栄木, 村上太一, 高橋謙作, 西脇麻里子, 谷村智史. アバコパンおよび低用量プレドニゾン(PSL)で寛解導入を行った ANCA 関連血管炎(AAV)の 2 例. 第 129 回日本内科学会四国地方会. 高松 (2023.12.3)

(2) 論文・著書

1. 玉井文明, 村上太一, 谷村智史, 垣尾勇樹. 抗 Phospholipase A2 receptor 抗体が診断・治療に有効であった糖尿病性腎症合併特発性膜性腎症の 1 例. 愛媛県立病院学会々誌 第 57 巻. 21-24 (2023.3)